

様式2 各機関におけるギャンブル等依存症問題に関する取組(計画P40,41)

資料1-2

機関名	取組
北海道精神科病院協会	<ul style="list-style-type: none"> ・外来治療時に入院治療。 ・アルコール薬物と合同プログラムを行っている。 ・ギャンブル障害だけでなく、他疾患合併の重複障害にも対応している。 ・地元、千歳GA誕生を応援した。 ・治療の基本はGA紹介、心理教育である。 ・自己破産、債務整理等も法律家との連携をしている。 ※北海道精神科病院協会としての取り組みはなく会員病院が個別に取り組みを行っているため、例として千歳病院の取組を記載。
北海道精神神経科診療所協会	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道精神科診療所協会の会員の中で院内でギャンブル問題のミーティングプログラムをGA、回復支援施設と連携して行っているところは2軒。 ・CRCT:条件反射制御法を実施しているクリニックが1軒、嗜癖問題を持つ人を多くグループホームで引き受けているクリニックもある。 ・他の多くのクリニックは、併存するうつ病、発達障害などの精神障害に対してや、ギャンブル問題を持つ当事者の家族で精神的問題を抱えている人に対して支援を行っている。 ・R2年度に開催した北海道精神科リハビリテーション研究会で、ギャンブル依存をテーマに取り上げたが、R3年度でその報告集をまとめた。参考資料1 【R4年度取組予定】 ・院内でミーティングを開いている診療所では、引き続きGA、回復支援施設と連携してミーティング開催を支援し、ギャンブル問題を抱える人をつなげる。 ・ギャンブルの問題に併存するうつ病、発達障害などの精神障害などの精神疾患に対して治療を行う。 ・ギャンブル問題を抱える人の家族の相談にのり、情報提供を行う。
公益社団法人北海道看護協会	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャンブル等依存症問題啓発週間ポスターの館内掲示による周知 (5月) ・「自助グループを知る」講演会 Web講演会(9月)ホームページでの周知 (9月) ・ギャンブル等依存症・アルコール健康障害普及啓発セミナーを本会ホームページ「道民の皆様へ」で周知(10月)
北海道臨床心理士会	<ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット、ホームページ等について、会員に対する情報提供を行い、会員及び会員の勤務する施設や利用者への啓発を図る。
北海道精神保健福祉士協会	<ul style="list-style-type: none"> ・現状を把握するべく、ギャンブル等依存症者を支援する医療機関等において当事者に関わっている構成員から情報を収集し、より適切・効果的な支援体制を構築するために分析・検討している。 ・また、既成の依存症リハビリテーションプログラムを利用している当事者やGAなど自助グループへの支援に対するスーパービジョンなども小規模ながら行われている。
北海道作業療法士会	<ul style="list-style-type: none"> 全国45の医療機関においてすでに作業療法士の取組があることが分かっています。北海道作業療法士会としても、これらの状況を踏まえた上で、北海道における取組の詳細把握や対策の検討が求められています。現在、詳細な把握はできていないが、対策につながる活動として会員に向けたギャンブル等依存に関連する研修会情報の提供を随時行っている。
医療法人北仁会 旭山病院	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点医療機関として各種研修会を開催するとともに、関係各機関との連携の機会を活用。 ・病院としては、外来・入院治療を行い、集団力動を利用したグループケア(AGG)を行っている。 ・R3年度より、ワークブック(STEP-G、SAT-G)を用いた認知行動療法プログラムを開始。 ・R4年度も上記内容の継続と内容の充実を図る。
札幌医科大学 医学部神経精神医学講座	<ul style="list-style-type: none"> ・大学医学部においてギャンブル等依存症問題に関する講義を行っている。 ・臨床場面において外来等での相談の際に、種々の情報提供や回復支援に向けた知識の普及に努めている。 ・各問題に対する相談窓口、地域の窓口の周知や関連ホームページの紹介等を行っている。
青十字サマリヤ	<ul style="list-style-type: none"> ・教育・広報として大学等にて当法人のPSWスタッフ及び当事者スタッフが講義の中で依存症の理解と回復のプロセスを普及する。
札幌方面遊技事業協同組合	<ul style="list-style-type: none"> ・リカバリーサポートネットワーク(RSN)の支援(運営資金等の寄付、ポスター等の掲示) ・「安心・パチンコ・パチスロアドバイザー」の育成と店舗への配置(管内3か所実施し、新たに76名を養成) ・「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム」の開催(ポスター等の掲示) ・自己申告プログラムの開発と導入 ・18歳未満立ち入り禁止の徹底 ※ 令和4年も前記事業を継続実施する

機関名	取組
北海道立消費生活センター	<ul style="list-style-type: none"> ・「ギャンブル等依存症」に関連すると考えられる「多重債務問題」に係る相談については、金融庁及び消費者庁から通知された『ギャンブル等依存症に関連すると考えられる多重債務問題に係る相談への対応に際してのマニュアル』を活用し対応している。 ・消費生活分野においては、引き続き、国の動向に沿って、ギャンブル等依存症への知識や理解を深めるとともに、適性な対応について情報共有していく。
北海道弁護士会連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャンブル等依存症が陥りがちな多重債務問題については、単位弁護士会にて、法律相談を実施、対処している。
札幌司法書士会	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャンブル等依存症者が陥ることの多い、多重債務問題について、「札幌司法書士会法律相談センター」において、法律相談を行っている。 ・令和3年11月8日から11月14日の間、北海道財務局、北海道と共催で「借金・困りごと無料特別相談会」を実施した(令和3年)。 ・日本司法書士会連合会作成のリーフレットを相談センターに備え置き、相談者に配布したほか、会員に周知した(令和3年)。 ・会員向けの研修を企画予定(令和4年)。
北海道児童青年精神保健学会	<ul style="list-style-type: none"> ・ギャンブル等依存症の実態と利用できる支援について、講演会を開催し、市民に情報提供を行っている。
北海道立精神保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・全道の中心となる相談拠点として令和2年4月から相談支援体制を充実。 ・北海道立精神保健福祉センター依存症対策連携会議(現:北海道依存症対策連携会議)を設置(R2.4)(R3年度 1回会議開催) ・ギャンブル等依存に係る来所相談(相談員の面接、精神科医師の診察)(随時) ・ギャンブル等依存症当事者グループ活動(ギャンブル研究会毎月2回第2、4木曜日午後6時半から8時まで家族も1回だけ参加可能) ・R3年度 18回開催予定) ・こころの健康電子メール相談(年間を通して24時間、おおむね1週間以内に回答)(随時) ・こころの電話相談(月～金9時から21時。土日祝は10時～16時。年末年始は除く)(随時) ・関係機関に対し、依存症研修等各種研修・啓発等を行い人材育成を図っている。 <p>R4は新規事業として依存症に関するオンライン相談事業、SAT-Gライト研修の実施を予定</p>
札幌市精神保健福祉センター	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の依存症患者や家族等の支援に関係機関・団体等が参加する「札幌市依存症総合対策連携会議」を設置(第1回を令和元年12月11日に開催)。 ・札幌市精神保健福祉センター内に「札幌市依存症相談窓口(札幌市依存症相談支援拠点)」を設置し、令和2年1月6日から、専用電話や面接等により、本人・家族・関係者からの依存症に関する相談を実施。 ・札幌市依存症治療拠点、札幌市依存症専門医療機関の選定。 ・ギャンブル等依存症について「ギャンブル等依存症回復のしおり」を活用した、市民への周知・啓発。 ・札幌市依存症治療拠点に委託し、地域における依存症患者等の支援を担う人材を養成するための「札幌市依存症地域支援者向け研修」を開催。 ・依存症の理解促進及び専門医療機関や自助グループに繋ぐための「家族セミナー」を開催。
北海道教育庁	<p>【令和3年度の主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月文部科学省が作成した『「ギャンブル等依存症」などを予防するために』(教師用指導参考資料)を、道立学校及び各市町村教育委員会へ通知
函館市競輪事業部	<ul style="list-style-type: none"> ・依存症相談窓口対応マニュアルを作成し、函館市競輪事業部内に依存症相談窓口を設置。 ・依存症の予防のため勝馬投票券の適度な購入について啓発するポスターの掲出。 ・ホームページでの発信。
北海道農政部競馬事業室	<ul style="list-style-type: none"> ・地方競馬依存症相談窓口対応マニュアルを作成し、農政部競馬事業室等に依存症相談窓口を設置。 ・依存症の予防のため勝馬投票券の適度な購入について啓発するポスターの掲出。 ・ホームページでの発信。 ・場内モニターに注意喚起テロップの表示
帯広市農政部ばんえい振興室	<ul style="list-style-type: none"> ・地方競馬依存症相談窓口対応マニュアルを作成し、帯広市農政部ばんえい振興室に依存症相談窓口を設置。 ・依存症の予防のため勝馬投票券の適度な購入について啓発するポスターの掲出、ばんえい十勝の情報誌への掲載。 ・ホームページでの発信。 ・場内モニターに注意喚起テロップの表示
北海道労働局	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークにおいて、個々の状況、希望を踏まえた就労支援を実施。
北海道環境生活部くらし安全局消費者安全課	<ul style="list-style-type: none"> ○多重債務者対策 ・金融庁及び消費者庁の連名により通知された「ギャンブル等依存症に関連すると考えられる多重債務問題に係る相談への対応に際してのマニュアル」の道内各市町村及び庁内関係課などへの配布 ・多重債務者対策に関する協議、情報交換等を目的とした「北海道多重債務者対策協議会」の開催 ・多重債務者相談に関する啓発事業の実施(多重債務者相談強化キャンペーンのPR、啓発リーフレットの作成・配布) ・道内各弁護士会及び各司法書士会、北海道財務局と連携した借金無料相談会の開催 ・貸金業相談員の配置及び苦情相談専用フリーダイヤルの設置

機関名	取組
北海道保健福祉部 福祉局 地域福祉課	<p>○生活困窮</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各振興局において生活困窮者自立相談支援事業に従事する支援員が、管内町村のギャンブル等依存症を含めた様々な課題を抱える生活困窮者からの相談について、地域の関係機関と連携して支援 <p>○生活保護</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金融庁で作成している「ギャンブル依存症に関連すると考えられる多重債務問題に係る相談への対応に際してのマニュアル」を各振興局へ配布(R2年8月12日) ・各福祉事務所に対し、ギャンブル等依存症が疑われる者に対する支援については、適切な専門医療機関等を紹介するなど、早期の治療につなげることが重要である旨周知。(R3年3月24日)
北海道保健福祉部 福祉局 障がい者保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・「北海道ギャンブル等依存症対策推進会議」及び「対策推進部会」の設置及び開催(R3年度:推進会議2回予定、対策推進部会:2回) ・ホームページ(依存症対策支援機関アクセスマップ等)による情報提供(随時情報の更新) ・ギャンブル等依存症の普及啓発セミナー等の実施(R3年度:2回(オンライン)) ・ギャンブル等依存症の治療拠点機関及び専門医療機関の選定(治療拠点機関:H30年度1か所、専門医療機関:H29年度2か所、H30年度1か所、H31/R1年度1か所、R2年度1か所) ・医療機能調査を実施し、ギャンブル等依存症に対応可能な医療機関を公表(北海道医療計画第8章「別表第7 精神疾患の医療機能を担う医療機関一覧(R3年4月1日現在)の情報」) ・治療拠点機関に委託し、依存症の専門医及び医療従事者を養成するための依存症支援者研修を開催(R3年度:2回) ・保健所における相談支援等
北海道ソーシャルワーカー協会	<ul style="list-style-type: none"> ・会議への参加、また内容等は会員等へホームページ等やSNSで発信し、会員などに対する情報提供を行う。
北海道産業保健総合支援センター	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口や依存症のリーフレットの周知 ・ギャンブル依存症とに係る研修を産業保健スタッフ、人事労務担当者向けに実施